

日臨技北日本支部 支部長 伊藤 茂雄
 東臨技 生物化学分析部門長 加藤 幸子

平成 24 年度 日臨技北日本支部 生物化学分析部門 遺伝子分野研修会のご案内
 (共催 東北臨床検査技師会及び新潟県臨床検査技師会 遺伝子分野研修会)

謹啓 仲秋の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、東北臨床検査技師会生物化学分析部門遺伝子分野研修会を下記の通り開催致します。つきましては多数の皆様方のご参加を賜りますようご案内申し上げます。 謹白

記

会 期 11月24日(土)13:30-17:00 ~ 11月25日(日)9:00-15:00

会 場 24日：新潟大学医学部第4講義室、新潟市旭町通1-757(図①)
 駐車場：医学部構内駐車場の海岸側入り口(図⑥)より入場
 25日：新潟大学医学部 実習棟2F 実験室(図②)

募集人員 24日(講演会)：制限いたしません。 25日(実技講習)：40名
 会 費 2,000円(2日間)；500円(24日のみ)、当日徴収いたします。

日臨技生涯教育研修単位： 専門-30点(2日間)
 遺伝子分析科学認定士単位：5単位(2日間)

プログラム要項

11月24日(土) 講演会

技術講演1 13:30~14:15

「病理切片からのゲノム精製とコンパニオン診断」

(株)キアゲン

三好 康弘 先生

教育講演 14:30~16:00

「ファーマコゲノミクスに基づくオーダーメイド投薬の実現」 理化学研究所 ゲノム医科学研究センター

荻田 泰誠 先生

ファーマコゲノミクス(PGx)は、薬の作用と遺伝子多型などのゲノム情報を結びつけることにより、特定の患者における薬効や副作用の発症リスクを予測するための研究分野であり、その進展により、個々の患者に合った薬を適切に使い分けることが可能になりつつある。本講演では、PGxに基づいた個別化医療を臨床に導入する試みの例として、カルバマゼピンによる重症薬疹の回避、ワルファリンの至適維持用量の予測、タモキシフェンの乳癌再発予防効果の予測について紹介する。

技術講演2 16:15~17:00

「遺伝子検査に関するトピックス -全自動SNPs検査装置 i-densy のご紹介-」

アークレイマーケティング(株) 本間 雅史 先生

情報交換会 18:00~(会費:5,000円)

11月25日(日) 実技講習 9:00~15:00

「FFPEサンプルからのゲノム精製方法とEGFR変異検出の実際」

(株)キアゲン

三好 康弘 先生

「全自動SNPs検査装置 i-densyを用いたCYP2C19遺伝子多型測定」

アークレイマーケティング(株)

本間 雅史 先生

研修会申し込み：下記事務局宛に、Eメール、FAX、TEL、封書での事前申込を11月10日まで受付いたします。
 申し込み時必要事項：氏名、会員番号、施設名、住所、電話番号、情報交換会の出欠 宿泊施設：各自でお早めに手配
 お願いいたします。

研修会担当幹事：(社)新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門遺伝子・染色体分野
 新潟県保健環境科学研究所 渡邊 香奈子 TEL 025-263-9414

研修会事務局：長岡赤十字病院病理部 高頭 秀吉、〒940-2085 長岡市千秋2丁目297-1

TEL 0258-28-3600(内2318)、FAX 0258-28-9000、Eメール kaz_kohe@ybb.ne.jp

研修会当日の連絡先：090-9744-6747

